

10/20-26#30 **三一の神の中にある召会**：Ⅰ.三一の神は、新約の構造です。Ⅱ.私たちは、三一の神を経験し、享受することによって、彼を認識するようになります。A 三一の神は、私たちの信仰の対象であるだけではありません。彼は私たちの中に住んでおり、私たちの命また命の供給として、私たちに経験と享受を与えます。1ヨハネ4:13 彼は私たちに、彼の霊を与えてくださいました。このことから、私たちが彼の中に住み、そして彼が私たちの中に住んでおられることを知るのです。14 そして私たちは、御父が御子を世の人の救い主として遣わされたのを見て、その証しをします。15 だれでも、イエスは神の御子であると告白するなら、神は彼の中に住んでおられ、また彼は神の中に住んでいます。B 私たちは、主観的な神を内側で享受することを通して、三一の神を経験的に認識する必要があります。C もし私たちが三一の神を認識しようとするなら、命の路線の中に、命の成長の過程の中にいなければなりません。私たちは命において成長すればするほど、ますます神聖な三一に関心を持つようになります。Ⅲ.三一の神が私たちの経験と享受になるとき、彼は御座におられる宇宙的に広大な方であるだけでなく、私たちの心の中におられる方でもあります。1ヨハネ3:19 このことにおいて、私たちは真理から出たものであることを知るでしょう。そして、私たちは御前で、心を安らげるでしょう。20 というのは、私たちの心が私たちをとがめるとしても、神は私たちの心よりも大きくて、すべての事を知っておられるからです。21 愛する者たちよ、もし私たちの心が私たちをとがめないなら、私たちは神に対して大胆さを持ちます。A 私たちは、宇宙の広大さにおいて三一の神を認識するのではなく、私たち個人の心の領域において彼を認識します。B 新約における関心事は、私たちの存在の中に入って来て住んでいる三一の神を、私たちが認識することです。すなわち、私たちの霊の中に住んでおり、私たちの心の内側の各部分すべての中へと広がることを願っている方を、認識することです。C 私たちが三一の神を認識するための新約の道は、個人的であり、細やかであり、経験的です。D 三一の神を認識するこのような経験的な道は、何と尊いことでしょう！Ⅳ.新約は、聖書全体と同じように、完全に神聖な三一をもって構成されており、神聖な三一がその構造となっています。A 新約全体は三一の神と関係があります。三一の神が新約を構成する要素です。B 聖書が私たちに提示している絵は、神聖な三一が彼のエコノミーを達成するための行動について見せています。C 聖書は支配する原則にしたがって書かれました。それは、三一の神が彼の

選ばれ贖われた民の中へと造り込まれて、彼らの享受、飲み物、命の源泉また光になるということです。D 神の御言における三一の神に関する啓示は、神が彼の神聖な三一の中で、彼の選ばれ贖われた民の中へと分与されて、彼らの経験また享受となるためです。それによって、彼らは永遠にわたって彼の団体の表現となります。V.テサロニケ人への第一の手紙は、「父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の召会」へあてて書かれています。1テサロニケ1:1 パウロとシルワノとテモテから、父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の召会へ。恵みと平安があなたがたにありますように。A テサロニケに在る召会は、一方において、テサロニケ人に属するものであり、他方において、父なる神と主イエス・キリストの中にあるものでした。1 そのような召会は、父なる神から生まれており、彼の命と性質を持っています。また、主イエス・キリストであるすべてと彼が行なったすべてにおいて、彼と有機的に結合されています。ヨハネ1:12 しかし、すべて彼を受け入れた者、すなわち、御名の中へと信じる者に、彼は神の子供たちとなる権威を与えられた。13 これらの人は血からではなく、肉の意志からでもなく、人の意志からでもなく、神から生まれたのである。2 私たちが見る必要のあることは、召会が、父なる神と主イエス・キリストにある人たちで構成されており、彼らは神の命を持っていて、キリストと有機的に結合されているということです。15:1 私はまことのぶどうの木であり、私の父は栽培者である。B パウロが、父なる神と主イエス・キリストにある召会について語るとき、事実上、彼が意味していることは、召会が三一の神の中にあるということです。1コリント1:2 コリントに在る神の召会へ、すなわち、キリスト・イエスの中で聖別された者たち、召された聖徒たち、それと共に、私たちの主イエス・キリストの御名を至る所で呼び求めているすべての者へ。彼は彼らのもの、また私たちのものです。1 「父なる神」と「主イエス・キリスト」という表現はいずれも、その霊を暗示しています。ですから、1テサロニケ1:1では、その霊が暗示されているのがわかるので、私たちは召会が三一の神の中にあると言ってもよいでしょう。2 神聖な三一の三者は分離することができないので、いつであれ私たちが第一の御父を持つとき、第二の御子と第三のその霊も持ちます。3 父、子、霊はひとりの神であって、三人の神ではありません。彼らには区別はありますが、分離はしていません。a 私たちは、御子を御父から分離することはできませんし、また御父と御子を霊から分離することもできません。なぜなら、三者はみな同時同存し、相互内在してい

るからです。ヨハネ14:10 私が父の中におり、父が私の中におられることを、あなたは信じないのか？ 私があなたがたに語る言葉は、私が自分から語るのではない。私の中に住んでいる父が、ご自身のわざを行なっておられるのである。11 私を信じなさい。私は父の中におり、父は私の中におられる。しかし、もし信じないなら、わざそのものによって信じなさい。

6 彼らの永遠の同時同存において、神格の三者には区別がありますが、彼らの永遠の相互内在は、彼らを一とならせます。4 神聖なエコノミーの中では、神聖な三一の三者は、三つの連続した時期においてそれぞれが働き、現されます：a 御父は、計画し、創始し、開始する方です。エペソ1:3 ほむべきかな。私たちの主イエス・キリストの神また父。4 この方は…世の基が置かれる前から、キリストの中で私たちを選び、5 …イエス・キリストを通して、私たちを子たる身分へと、…あらかじめ定められました。6 御子は、父が計画し、創始し、開始したすべての事を達成します。7 その愛する者の中で、私たちは彼の血を通しての贖い…を受けています。c その霊は、父が計画した事と子が達成した事を執行し、適用します。13 …彼の中であなたがたはまた約束の聖霊で証印を押されました。d 選びは御父からであり、救いは御子からであり、分け与えや繁殖は霊からです。5 子が来るとき、彼は父と共に、霊によって来ます。子は霊として実際化されています。霊は子として、父と共に来ます。c 召会が父なる神と主イエス・キリストにあるとは、召会が手順を経た三一の神の中にあることを意味します。1 聖書によれば、召会が神の中にだけあるというようなことはありません。そうではなく、召会は手順を経た三一の神の中にあります。2 創世記1章では、神は手順を経ていない神でした。しかし新約では、彼は手順を経た三一の神となりました。3 「手順を経た」とは、三一の神が神聖なエコノミーの中で経過した重要な段階を指しています。すなわち、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活です：a 十字架において主は、贖いを達成し、旧創造を終結させ、サタンと死を滅ぼしました。b 復活において、彼は新創造を生じさせました。c 今や彼は命を与える霊であり、手順を経た三一の神の究極的完成です。4 手順を経た三一の神の中にある召会とは、命を与える霊と成った、父と子を伴う方の中にある召会です：a 手順を経た三一の神は命を与える霊として、私たちに臨み、私たちと接触し、私たちの経験の中で私たちに適用されます。b 御父は御子の中にあり、御子は今や命を与える霊であり、私たちの中に住んでいます。c 私たちは父なる神と主イエス・キリストの中にあるとき、その霊の中にあり

ます。こういうわけで、私たちは手順を経た三一の神の中にある召会です。d もし私たちが三一の神の中にある召会のビジョンを見るなら、このビジョンは私たちの思想、活動、生活全体を支配します。証 神戸に在る召会は、一方において、神戸の人々に属するものであり、他方において、父なる神と主イエス・キリストの中にあるものです。そのような召会は、父なる神から生まれており、彼の命と性質を持っています。もし私たちが三一の神の中にある召会のビジョンを見るなら、このビジョンは私たちの思想、活動、生活全体を支配します。箴 29:18 ビジョンがない所では、民は勝手に振る舞う。リー兄弟は1 テサロニケ 1:1 を用いて、多くのメッセージを語られました。私はそれを読んでびっくりしましたが、とても享受しました。同時に、恐れとおののきをもって自分自身に尋ねました、「私は召会生活を実行する時、そのようなビジョンを持っているだろうか?」。その後、私は自分が見ているビジョンが十分でないことが照らされたので、自分の罪を告白して言いました、「主イエスよ、私の見ているビジョンは十分ではありません。その結果、私は十分にビジョンに従った召会生活を送れていません。私の罪を赦してください。私に知恵と啓示の霊を与え、召会に関する天のビジョンをはっきりと見せてください」。このような祈りの後、私は召会生活の中で、兄弟姉妹の語り掛けを注意深く聞くようになりました。そして彼らの言葉を考慮し祈りました、「彼らは、一見すると普通の人々ですが、三一の神と結合しています。彼らはすばらしい召会的一部分です。私は彼らの言葉を理解し、考慮し、祈る必要があります」。また、特別集会や訓練で、同労者の兄弟たちが語られることを、注意深く考慮し、祈るようになりました。召会に関するビジョンは、私と組み合わされて奉仕をしている兄弟姉妹との関係、また同労者たちを通しての聖霊の語り掛けに聞き従うことにおいて、大きく前進させました。最近の例では、9 月中旬にあった特別集会で、同労者たちから、「牧養のビジョンと委託」についての負担と実行の交わりを聞き、神戸に帰ってからその晩に、責任者たちと交わり、翌日の祈りの集会で発表し、直ぐに、全召会が牧養の実行を更新しました。その結果、主日の人数は、それまで 200 人を超えていなかったのに、それ以後 4 週連続 200 人を超えました。召会に関するビジョンが、私の思想、と奉仕全体を支配し、引き上げて、実が残る結果をもたらしていると証できます。